

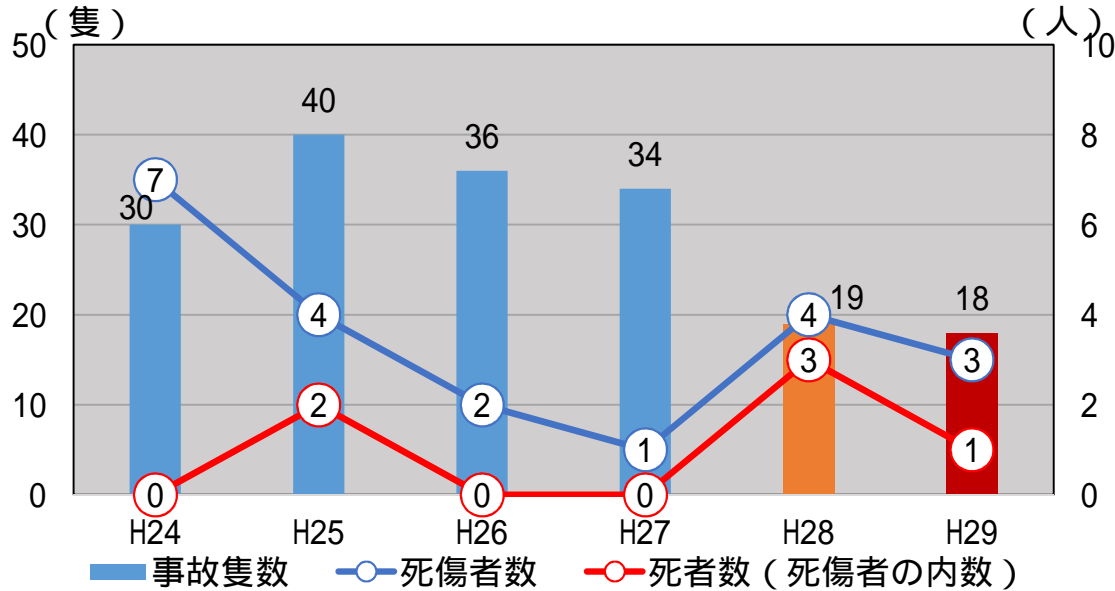
# 平成28年における カヌーの事故発生状況

---

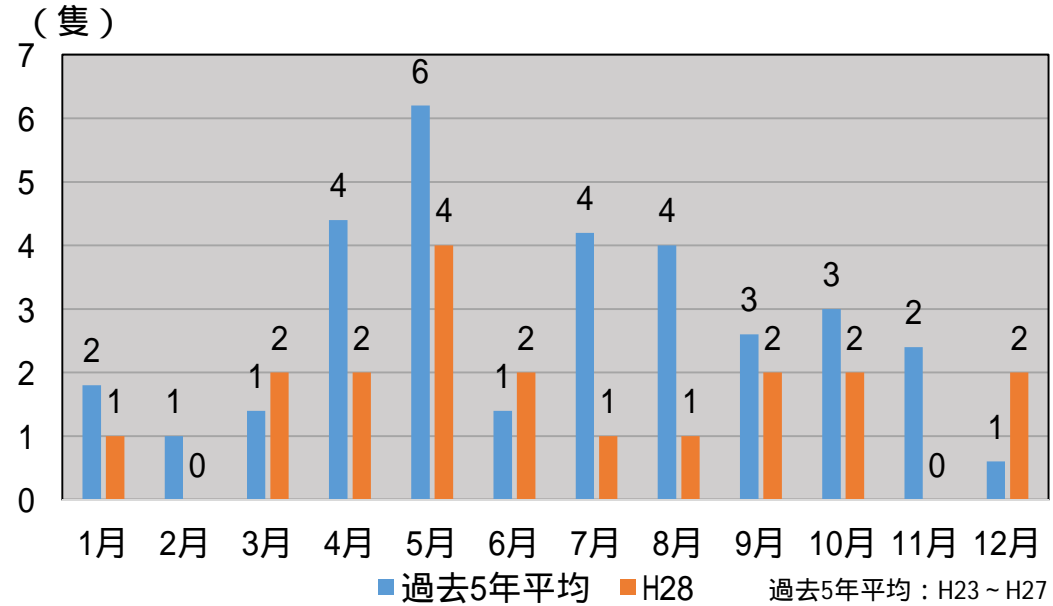
海上保安庁交通部安全対策課



## 事故の推移（過去5年間 + H29上半期）



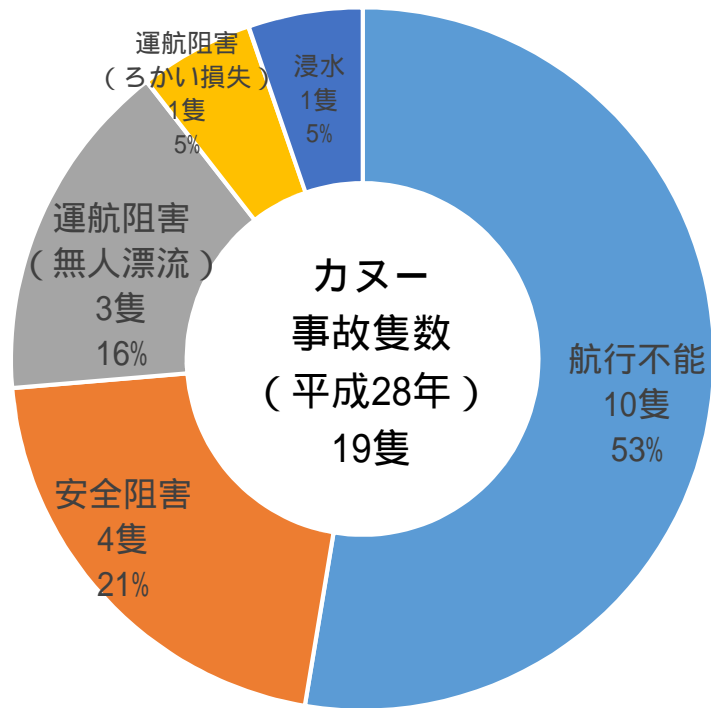
## 事故の推移（月別）



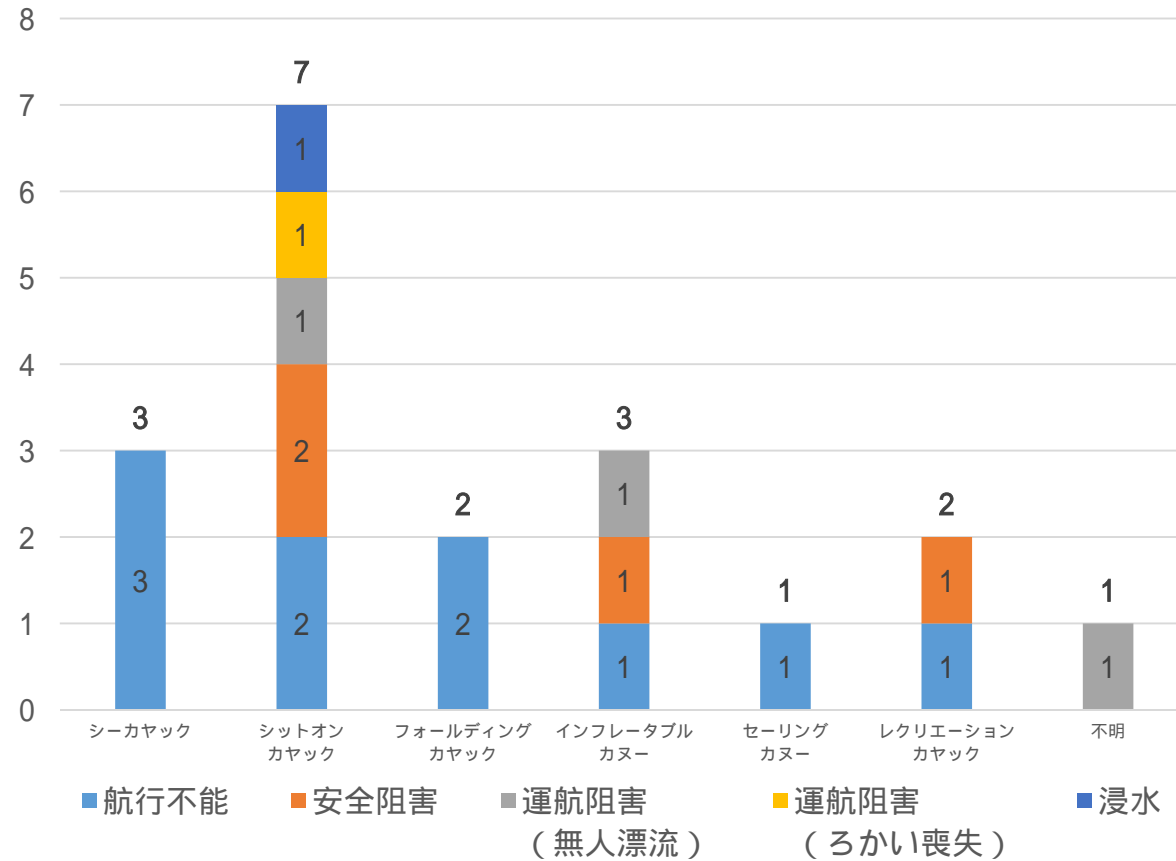
- 平成28年の事故隻数は19隻で前年に比べて15隻減少、死傷者数は4人でうち死者数は3人、いずれも前年に比べ増加
- 平成29年上半期（速報値）の事故隻数は既に18隻にも達し、前年の事故隻数を大きく上回る勢い

- 例年、マリンレジャーが盛んになるGWから夏季にかけて増加傾向
- 平成28年は、GWのある5月が例年同様に最多

## 事故種類別の割合（平成28年）



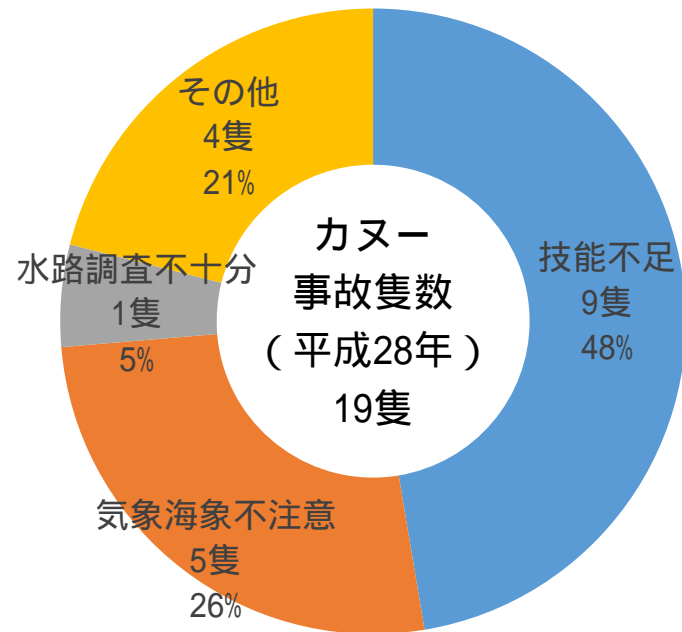
## 種類別事故発生状況（平成28年）



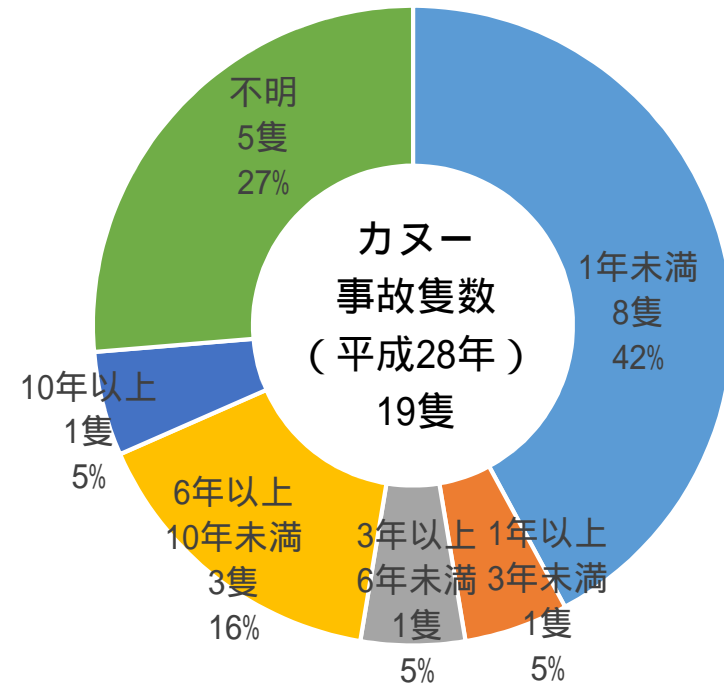
➤ 事故種類別では、技能不足等による航行不能（漂流）が10隻（53%）で最も多く、次いで安全障害（荒天難航）4隻（21%）の順

➤ カヌーの種類別では、シットオンカヤックが7隻で最も多く、次いでシーカヤック及びインフレーターブルカヤックがそれぞれ3隻の順

## 事故原因別の割合（平成28年）



## 経験年数別の割合（平成28年）



➤ 事故原因別では、操船の技能不足が9隻（48%）で最も多く、次いで気象海象不注意5隻（26%）の順

➤ 経験年数別では、経験が浅い操船者の事故割合が高い